

横田自治会ご近所スクラム隊（岡山県）

発表者の三宅とアシスタントの大村です。よろしくお願いします。多くの団体が非常に大きな組織で動いているようですが、私たちは非常に小さな部落で活動しているボランティア団体です。



活動地域の紹介

私たちの活動地域がある玉野市は、岡山県の南部にあり、人口が約6万5,000人、風光明媚な国立公園瀬戸内海に面するまちです。その中で、私たちが活動を行っている横田地区は、玉野市の北玄関に位置し、約230世帯、約700人が生活をする半農地域で、西には常山城落城女軍奮戦で有名な常山がそびえ、四季を通じて緑が多く、自然豊かで「晴れの国おかやま」の名のとおり、温暖で住みやすい地域です。

団体の概要

私たちの団体は、子どもの安全確保を重要視して、平成15年に横田地区民が主体となり、当初は自治会長、副会長、防犯委員長の5人で発足しました。そして、発足後間もなく、隊員や地区民の安全・安心をどのように守っていこうかということ協定して規約を制定し、その規約に従って、今まで活動を続けています。現在では隊員も18人まで増え、4～5人を1組とする4班編制で活動を行っていますが、隊員の中に地区内の情勢を熟知した自治会三役の経験者もあり、地域の実情に沿った実効ある活動を行うことができます。



なお、「スクラム隊」というボランティアの名称は、「安全はご近所同士のスクラムから」ということで名前が付いておりまして、同時期に玉野市で9団体ほどのボランティアが発足したのですが、それらの共通の名称となっています。

活動の内容・特長

活動計画の作成について説明します。皆さんはパトロールするときに、「今週はどこをパトロールしようか。」あるいは「何に注目してパトロールしようか」ということでお悩みではないでしょうか。私たちはスクラム隊の活動計画を5部作っております。左端から日にち、メンバー、活動予定が書かれています。このように事前に活動計画を立てておき、これを見て各班長さんが隊員と一緒にパトロールすることにし

ています。

次は、子どもの見守り活動についてです。子どもの人数は少ないですが、皆さん方とほとんど同じような活動をしております。内容的には、声かけやあいさつ運動、交差点での誘導、そして不審者等の警戒に当たっております。その状況を画面で見たいと思います。これは国道30号線の高架下を児童と一緒に学校の近くまで誘導している状況です。横田地区は小さな地区であり、その地区内だけを見守ったのでは子どもは安全

ではありません。しかも学校までの距離は約3kmあります。地図上でニコニコマークが出ているところが通学路上の主要な交差点になり、ここに隊員が立って、他の地域の子どもも合わせて見守っています。横田地区の子どもは約30人しかおりません。しかしながら、周辺地区の児童や中学生を合わせると、約200人が通学しており、それら全てを対象に見守り活動をしています。この見守り活動は雨の日であろうが、風の日であろうが、台風であろうが、学校が休みでない限りは、毎日続けています。

月	日	公園、八幡宮、パチンコ店、自動販売機周辺等 寄り道の状況点検 喫煙、飲酒、たむろ等行為は行われていないか等 (歩行、不審人物の状況の有無)
月	日	防犯灯、監視カメラの点検状況 壊れて防犯灯、監視カメラの点検状況の有無 (青少年非行状況)
月	日	火災(煙、ガス、空き缶(びん)等のターゲットになりやすい等)の点検 監視、足場(土壌)にずれ等、監視等に設置されていないか等 (歩行、不審人物の状況の有無)
月	日	道路等 避難対策/ハザード 外から見て一見安全と思われるが、監視、監視カメラの有無 (青少年非行状況)
月	日	交通安全等 安全対策/ハザード 迷惑運転、歩行者の安全確保、歩行者の安全確保 (青少年非行状況)
月	日	公園、八幡宮、パチンコ店、自動販売機周辺等 寄り道の状況点検 喫煙、飲酒、たむろ等行為は行われていないか等 (歩行、不審人物の状況の有無)
月	日	防犯灯、監視カメラの点検状況 壊れて防犯灯、監視カメラの点検状況の有無 (青少年非行状況)
月	日	火災(煙、ガス、空き缶(びん)等のターゲットになりやすい等)の点検 監視、足場(土壌)にずれ等、監視等に設置されていないか等 (歩行、不審人物の状況の有無)
月	日	道路等 避難対策/ハザード 外から見て一見安全と思われるが、監視、監視カメラの有無 (青少年非行状況)
月	日	交通安全等 安全対策/ハザード 迷惑運転、歩行者の安全確保、歩行者の安全確保 (青少年非行状況)
月	日	公園、八幡宮、パチンコ店、自動販売機周辺等 寄り道の状況点検 喫煙、飲酒、たむろ等行為は行われていないか等 (歩行、不審人物の状況の有無)
月	日	防犯灯、監視カメラの点検状況 壊れて防犯灯、監視カメラの点検状況の有無 (青少年非行状況)



次に、防犯パトロールについてです。横田地区は狭い地区ではあるのですが、歩くとなかなか時間がかかりますので、機動力を生かして主に自転車で回っています。パトロール中は、防犯灯や街路灯の確認、不審者や不審物の発見、少年のい集に対する呼びかけに心がけています。また、空き巣や放火等のターゲットになりやすい家の点検として、足場にされやすい脚立やはしごが家の周りに放置されていないか。燃えやすい新聞や雑誌等が家の周りに放置されていないか。あるいは、いかにも不在であることを示すように郵便ポストにいろいろなものが詰まっている家はないか。ということに着目してパトロールを行い、こういう家を見かけた場合には、家の人に声をかけて防犯指導を行い、留守の場合はメモを残して注意喚起を促しています。



危険箇所の点検として、防犯と防災、両方の観点から点検をしています。私たちの住む玉野市は海に面しているということから、去年起きた震災を教訓に、独自の防災マニュアルを作成し、津波を想定

した避難訓練を行っています。

防犯広報としては、年末のパトロールの際には、ハンドマイクを使って防犯、防火の呼びかけを行っています。写真は、年末のパトロール出発前の状況ですが、このように隊員を集めてミーティングを行い、重点ポイントを説明したあとで出発しています。

次の写真は、不法投棄を発見した状況です。これは一昨年の夏ですが、横田公園の上段の部分に、ひと晩、人が泊まったのではないかとするような形跡を発見しました。これを放っておくと、いわゆる割れ窓理論によると、ゴミの山と化すとか、あるいは不審者が住み着くなど悪化してしまいます。そうなる困るので、この写真を撮ったあとすぐ片付けを行っています。

次に、高齢者の支援活動についてです。団体の母体となる横田自治会ではホームページを立ち上げていて、そこに私たちの活動状況を載せております。しかしながら高齢者はそういう情報を見る機会が非常に少ないので、私たちが独居のお宅へ行き、きめ細かく、振り込め詐欺であるとか、押し売りに対する防犯指導を行ったり、警察署から提供された防犯情報をお知らせしたり、施錠等の防犯診断を行っています。

また、お年寄りからの相談にのり、簡単なことは私たちがやってあげようということで、実際に木を倒したとか、そういう経験もございます。

ざっくばらんに世間話を交えながら活動していますので、お年寄りの方からは大変喜ばれており、「元気になったよ」というお声をいただいています。また、以前は訪問販売や振り込め詐欺とかいろいろな電話がかかってきたというのですが、「最近、それが減った」というようなお言葉もいただいております、嬉しく思っています。

次に、情報配信活動についてです。1つ目は横田のホームページによる広報をしています。団体のホームページは、インターネットで「横田コミュニティ」で検索していただくか、また、横田地区は玉野市内で唯一、こいのぼり50匹を掲げるなど、こいのぼりでも有名ですので、「こいのぼり」で検索してもたどり着くことができるという話も聞いています。宣伝も兼ねてお知らせさせていただきます。2つ目は広報紙による広報活動で、各家庭への回覧を行っています。3つ目は放送による広報活動です。

この中でも特徴的なのが放送による広報です。これは公民館に設置されたスピーカーから地区内に放送を行うというのですが、通常であればその場に設置されたマイクを使わなくてはならないところ、携帯電話を使って放送ができるというものです。



ここに私の携帯電話があるのですが、これを使えば、今、この場から横田地区に向かって放送ができるわけです。東北の震災でも、放送しながら亡くなったという非常に悲しいことが起きましたが、この設備があればそのような悲劇を防ぐことができたかも知れません。ぜひ皆さんもそういう方面にお金をつぎ込んでいただき、皆さまの命を守るということも大切ではないかと考えております。

次に、地域の連帯感と絆づくりについてです。児童や保護者参加による地域安全マップづくり、地域公園の植樹祭、あるいは地区の年間行事など、たくさんございます。これらに積極的に参加して、連帯感と絆を深めているというのが現状です。

写真は一昨年行われた植樹祭です。横田公園に植樹したのですが、地区の人口700人のうち約200人が集まって執り行われ、地域の連帯感醸成に貢献しています。



最初に宣伝するのを忘れてしまったのですが、資料の右上にあるシンボルマークは私たちが独自に作ったものです。また、横田地区では「我が郷(わがさと)横田」という踊りも作っているのですが、地区からの公募でできた文章を音楽にしています。これら独自のシンボルマークや踊りなども地域の絆を深めることに繋がっています。

活動の効果

私たちは「金かけるより、声かけ・カギかけ・目をかけよう」を合言葉に、隊員全員が知恵を出し合い創意工夫しながら活動しています。写真にある看板などはすべて私たちの手づくりです。いずれも絵の具や油性のペイントを使いながら作ったもので、一つは津波の際の避難場所を示す案内板で、横田地区内に7箇所表示しています。もう一つは、子どもが接触事故に遭った現場に注意喚起のために設置したものです。



平成15年の発足当時から3年間くらいは、毎月2～3台の放置自転車がありました。それを的確に処理をしているうちに、最近では放置自転車がゼロという状況に改善されるなど、私たちが活動を始めてから、少しではありますが、その効果が出ていると自負しています。

また、隣接地域の子どもたちから、スクラム隊のユニフォームを着ていなくても、「あ、パトロールのおじいちゃんだ」と声をかけてくれるほど、私たちの活動は横田地区だけでなく周辺地域にも溶け込んでいる状況で、子どもやお年寄りから言葉をかけてもらうことで、私たちもエネルギーをもらっています。

今後の取組

まずは「地道な防犯活動の継続」、これに尽きるのではないかと考えています。そして、「やる気溢れるボランティアの育成」ですが、これは皆さん方のお話もありましたとおり、難しいことですが、やはり地道にコツコツとやっていけば、若い人たちにも気持ち伝わり、ボランティア精神が芽生えてくれるのではないかと信じて、老体にムチ打ちながら活動を続けております。

また、「更なる住民間・世代間の連帯感や絆づくり」として地区の住民とたくさん協賛して連帯感、絆づくりに努めていきたいと思っています。いずれにしても、地域に根付かないと活動は長続きしませんので、根気よく、これからも足腰が立つ間は頑張ろうかなと考えております。団体の平均年齢は66.5歳、私はそれよりちょっと上なのですが、もう少し頑張りますので、皆さん、お互いに頑張りましょう。

質疑応答

●質問 携帯でホームページを拝見しましたが、充実したホームページと感じました。このホームページの更新は専任の方がいらっしゃるのでしょうか。

○回答 団体のメンバーに専任者がいます。警察の防犯情報などを専任者に渡して、更新を行っています。今日の資料も専任者に作っていただいたものです。